

- ・議案 5 件
- ・報告 2 件（議決不要）

## 歳入歳出決算書

決算審査特別委員会に付託を受けた議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

平成28年度  
水道事業会計決算書

平成28年度  
病院事業会計決算書

- ◆委員長／大林吉正
- ◆副委員長／山添和良
- ◆委員／高橋正浩 桂 撤男 杉本忠一



### 主な審議内容

#### 【議案第62号】

#### 平成28年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

##### ◆子ども医療費扶助費について

- ㊦ 子ども医療費扶助費支給状況で、最近の傾向として総支給額は増えてきているのか、減ってきているのか、あまり変わらないのか。
- ㊦ 子ども医療費の支給実績についての傾向だが、平成28年度については8,370万円余り、平成27年度については8,590万円ほど、平成26年度については8,170万円ほどといったことで、平成27年度は前年より増えて、平成28年度は若干下がっているような状況である。
- ㊦ 窓口無料化については、議会質問も出ていると思うが、所得制限はあるものの、県の支出金が2分の1ある。この県の支出金が増えたり減ったりする条件の中に、窓口での無料化が「できる」「できない」というものがあるのか。
- ㊦ 県の補助については、入院については就学前まで、通院については3歳児までが対象となっているが、そのような条件はない。
- ㊦ 実際に無料化した場合、試算はどうなるのか。
- ㊦ 子ども医療費の助成については、平成28年度決算で、子ども医療費扶助費支給額約8,300万円に加え、ひとり親の助成もあるため、約1億円の助成となっている。この助成を窓口無料化した場合は、約7,000万円増えて約1億7,000万円が経常的に掛ってくるということになると試算している。



#### 【議案第62号】

#### 平成28年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

##### ◆老朽危険空き家等解消支援事業費について

- ㊦ 老朽危険空き家の判断はどのようにしているのか。
- ㊦ 国から建物の老朽のガイドラインが示されており、市の担当者や建築士の資格を持ったものが調査して判断する。町会長からの申請されるものや市の担当者が巡回して調査したもの以外にも危険な建物があると思う。そのような建物があった場合、市の方へ連絡していただければ調査を行うので、相談していただきたい。



#### 【議案第62号】

#### 平成28年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

##### ◆国民健康保険税について

- ㊦ 国民健康保険税が都道府県化されたときに保険料が上下する市町があると聞くのだが、七尾市はどうか。
- ㊦ 平成30年度からの保険税については、まだ決まっていない。
- ㊦ 七尾市の保険税の平均額が、県内で一番高いとも言われているのだがどうか。
- ㊦ 1番ではない。1人当たりの額は県内で6番目、世帯当たりでは9番目である。ただし、あるモデル世帯で試算した資料で、夫婦ともに40代で子ども2人の4人世帯で、夫の個人所得が200万円、固定資産税5万円の世帯で試算した場合には、確かに1番になる。しかし、国保の加入状況では、世帯数が約8千世帯、被保険者が1万3千人、平均すると1.625人になり、4人世帯では全体の2.6%になる。このようにすることで、県内で1番高いとは判断できないと思っている。